

添付資料 4. HP 掲載用の文書

院内がん登録を用いた我が国の希少がん生存率に関する研究

研究目的：平成 19 年にがん対策基本法が制定され、平成 24 年度に改訂された第 2 期がん対策推進基本計画においては、希少がん対策を進めていくことが定められました。そのため、本研究は、国立がん研究センター中央病院、東病院を含む、がん診療連携拠点病院の院内がん登録を用いて、各種の希少がんの生存率を含む診療実態について、基礎データを提供することを目的とします。

研究概要：がん対策推進基本計画に例示されている肉腫とよばれるがんや、成人 T 細胞白血病を始めとし、その他の希少ながんに関して、院内がん登録を用いて生存率を中心に解析を進めます。生存率の施設間の差やその関連要因などについても解析をし、今後の希少がん対策の検討材料とします。

研究対象：2007 年～2015 年に全国のがん診療連携拠点病院で診療を受けた患者さんのデータを解析します。

研究方法：既集積されている院内がん登録のデータを生存時間解析と呼ばれる分析方法を用いて解析します。生存率が低い種類のがんは、これから研究開発や対策が必要ということの意味しますから、がん種毎に生存率を算定して比較したり、また、同じがん種の中で進行度、年齢、施設規模や患者数などの要因と生存率に関連するののかといった解析をしたりします。研究期間は、研究許可日～令和 9 年 3 月 31 日までとします。

個人情報保護に関する配慮：個人がわかる氏名や診察券番号などの識別情報は院内がん登録がデータベース化する以前に全て削除され、全て研究番号に置き換えられています。個人と番号の対応については患者さんが診療を受けた施設を出ることは一切ありません。研究に使うデータについては、その研究番号も削除された上で安全化した上で利用します。もし何か不安に感じられることがあれば下記までご連絡ください。

本研究に関する照会先：

国立がん研究センター中央病院希少がんセンター 川井章（研究責任者）

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1 TEL 03-3542-2511 (内線 1656)